

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		姉妹都市スポーツ交流(墨田区)				所管	教育委員会 青少年・スポーツ課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]					[事業開始] 昭和53年度		
		[小 柱]					[終了予定] - 年度		
		[施 策]							
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	姉妹区親善スポーツ大会実施要項					
	事業対象	台東区・墨田区在住在勤者							
	事業目的	スポーツを通じて、台東区・墨田区等姉妹都市がともに協調し、相互理解を深め、各都市の発展と親善交流の促進を図る。							
	事業内容	台東区・墨田区では、種目ごとに隔年で各自治体が幹事となり、5種目(アーチェリー・剣道・サッカー・テニス・ソフトテニス)の交流大会を実施している。							
委託の有無	全部委託	委託内容	大会運営委託						
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	開催種目	(種目)	5	5	5	5		
		参加者数	(人)	800	750	731	746		
	決算額 (単位:千円)					75	172	75	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				450	833	852	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				75	172	75	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				0	0	0	
		総経費				525	1,005	927	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0	
一般財源(区負担額)				525	1,005	927			
前年度から改善した事項	区民同士の自主的な交流へと発展していくよう、各競技団体に多くの参加者を促した。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	スポーツを通じた区民間交流であり、競技力の向上やスポーツの普及振興を図るためにも本事業は必要である。						
	効率性	3	種目ごとに隔年で各自治体が幹事となり、経費は両区で負担している。大会運営にかかるコストに大きな変化はなく、効率性を維持している。						
	手段の適切性	3	スポーツに関する専門的知識を有し、区内体育団体を取りまとめている台東区体育協会に大会の運営を委託することは、手段として適切である。						
	目的達成度	3	参加者数も多く、姉妹都市である墨田区との親善交流や、スポーツをする区民の競技力の向上やスポーツの普及振興にも寄与している。						
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
台東・墨田両区における友好関係に資する事業であり、区民同士の自主的な交流へと発展していくことが望まれるため、今後も墨田区と協議・検討し、事業を維持・継続していきたい。						維持			